

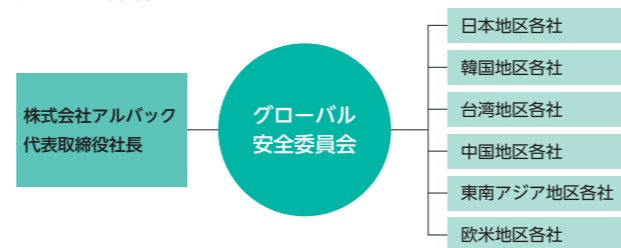
労働安全衛生

「安全第一」を企業経営の基本理念とし、お客様に利用して頂く様々な製品やサービスの安全と、私たち自身が明るく元気に働くことのできる活気ある職場づくりを、リスクアセスメントを中心とした安全管理システム(OSHMS)の運用によって目指していきます。

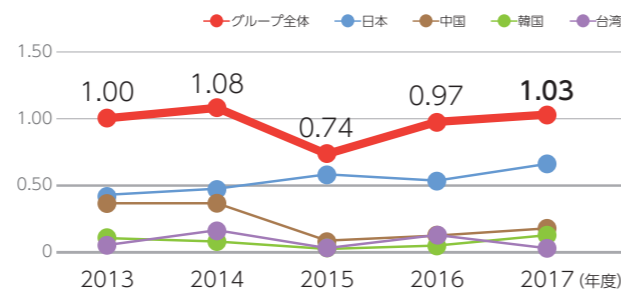
労働安全衛生に関する考え方

アルバックグループは、開発・製造・輸送・据付・メンテナンスをはじめとする各種の業務遂行にあたり、経営層から現場担当者まであらゆる人が安全を最優先して積極的かつ継続的な改善につとめ、関わるすべての人々の安全と健康的な労働環境の維持向上に努めます。

安全管理体制



労働災害発生率の推移



※このグラフは、各年度における労働災害発生件数の割合を、2013年度(14年6月時点)のグループ全体を1.00として表したものです。2017年度も少ない件数を継続しています。

安全衛生活動紹介

ULVAC KOREA, Ltd.では、従業員の安全意識を高めるためにデジタルサイネージを設置し、安全・衛生・環境に関する動画を放映しています。また、ULVAC CRYOGENICS KOREA INCORPORATEDでは、従業員が自らデザインした掲示板を作業場入口に設置し、従業員に安全・衛生・環境情報を提供しています。今後も新情報やキャンペーン活動について随時アップデートし、安全・衛生・環境の重要性やルールの周知徹底を推進していきます。



昼食時の安全情報の放映
(ULVAC KOREA, Ltd.)



作業場入口での安全・衛生・環境情報の提供
(ULVAC CRYOGENICS KOREA INCORPORATED)

アルバック安全基本方針

1. 法令・規定の遵守、リスクアセスメントの実施

労働安全衛生関係法令、およびアルバック安全管理システム(OSHMS)に基づく労働安全衛生関係規程を遵守し、リスクアセスメントを実施することにより、全従業員の協力の下に安全衛生活動を実施します。

2. アルバック製品の安全確保

アルバック安全設計基準を遵守し、製品のリスクアセスメントを実施することにより、安全なアルバック製品・サービスをユーザーに提供します。

3. 労働安全衛生・製品安全に関する計画的な教育

全従業員、協力会社員に対しアルバック安全管理システム(OSHMS)に基づいた労働安全衛生教育を計画的に実施し、またアルバック製品のユーザーに対し製品安全教育を計画的に実施します。

4. メンタルヘルスケアの推進

メンタルヘルスケアを推進し、健康で活気のある職場を作ります。

5. アルバックグループのグローバル展開

グローバル安全管理委員会による安全衛生推進活動を通じて、アルバックグループ全体の快適な作業環境の形成を図り、事業の繁栄に貢献します。

無災害記録第五種を目指して

お客様と従業員の安全と健康の実現のために、グローバル安全委員会を定期的に開催し、グループ全社が一体となって安全衛生活動を推進しています。また、各社においては安全管理システムを運用し、社長によるマネジメントレビュー、従業員一人一人によるリスクアセスメントなどを通じ、全社員が安全衛生活動に取り組んでいます。茅ヶ崎工場では2017年に厚生労働省の休業災害発生ゼロの無災害記録である第四種(延べ1,050万時間)を達成し、最上位となる第五種(延べ1,580万時間)を目指しています。今後もグループ全社にて安全第一を掲げ、無災害記録の継続に邁進していきます。

環境

環境方針のもと、お客様が環境貢献を実感できる製品の提供や消費するエネルギーなどの管理・削減を行い、環境負荷を最小限にすることを目標に活動を行っています。グローバルな生産体制を有していることから、ISO14001の認証統合化を通してガバナンス強化を図ることで、グループ間の情報共有やトップマネジメントによる指示の迅速な展開を確実に実施しています。今後も「ULVAC」製品を通じ環境負荷の低減を図っていきます。

環境理念

アルバックグループは、地球環境の保全を人類共通の重要課題のひとつとしてとらえ、事業活動のあらゆる面で環境の保全に配慮し、住みよい地球と豊かな社会の発展に貢献します。

環境方針

省エネ・省資源・環境保護に貢献できる商品の提供

- ① 製品(アルバックグループ製品・最終製品)の省エネ・省資源・環境保護
- ② アルバックグループ製造プロセス(工程)における省エネ・省資源・環境保護

2017年度の環境活動

生産量は増加しましたが、廃棄物総排出量は前年度と比較して約14%の削減となりました。有価物化率を29%まで高めたことが大きく寄与しています。有価物化は、貴重な資源であるマテリアルリサイクルの視点からも重要となるため、引き続きアルバックグループとして推進していきます。

また、エネルギー(電力)使用量削減のため、電力量の見える化、省エネマニュアルの作成及び運用、電気使用エリアの集約、工場・オフィス照明の100%LED化を目指すなど、グループ一体となって取り組んでいます。

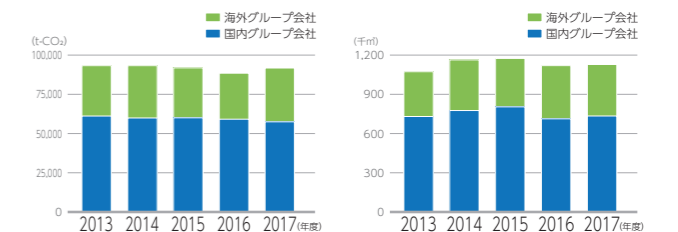
事業活動に起因する環境負荷を下げるため、全社を挙げて今後も引き続き環境管理活動を進めてまいります。

マテリアルバランス(2017年度集計結果より)

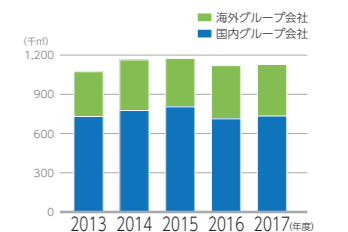
INPUT		OUTPUT	
電気使用量	174,794kwh	CO ₂ 排出量	91,822t-CO ₂ (電気・ガス・燃料の使用により発生)
ガス使用量	LPG: 106t LNG: 584t 都市ガス: 1,690千m ³	廃棄物総排出量	7,556t うち総リサイクル量 7,197t
燃料使用量	重油: 224KL 灯油: 30KL 軽油: 192KL	最終処分率	4.2%
水使用量	1,127千m ³		
梱包材	1,712t		

※本データは主要な国内外38社のデータをもとに作成しています。
※梱包材の使用量は国内外17社のデータをもとに作成しています。

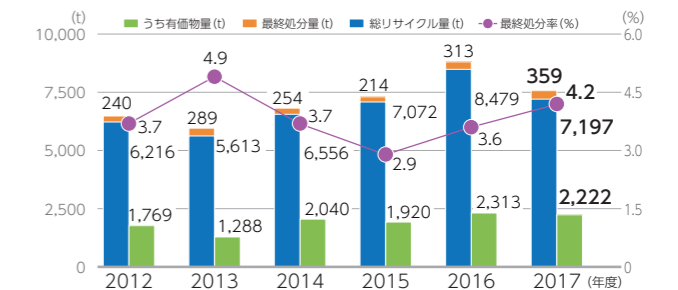
CO₂排出量推移



水使用量推移



廃棄物量推移



環境

製品における取り組み

高速排気と低消費電力を両立した新型ドライ真空ポンプLSシリーズ 株式会社アルバック 規格品事業部

本製品の主な特長は、高速排気と低消費電力の両立を実現したことです。開発したスクリュロータによって大気圧付近の排気速度を大きくしつつ、ECO-SHOCK (特許取得) を内蔵させることで消費電力を低く抑え、相反する技術の両立を実現しました。短間隔での大気真空の繰返し排気の他、高温や低温、塵埃 (IP44相当^{※1}) 環境下での運転試験などを行い、製品の信頼性を高めています。規格品事業部では、電子部品やスマートフォン、通信技術関連などの世界市場での需要拡大を追い風に、ドライ真空ポンプの開発、販売を行っています。

※1 IPは防塵や防水の等級を表す規格



ドライ真空ポンプ [LS120A]

変換効率の向上に貢献するシリコンヘテロ接合型太陽電池用Cat-CVD装置 株式会社アルバック FPD・PV事業部

再生可能エネルギーはCO₂を排出しないため環境にやさしいエネルギーとして注目されています。太陽光発電は太陽電池を用いて電力を得る仕組みであり、太陽光をより効率的に電気エネルギーに変換する特性を持つヘテロ接合型太陽電池が注目されています。単結晶シリコンとアモルファスシリコン薄膜から成り、従来の単結晶シリコン太陽電池と比べエネルギーの変換効率が高いのが特徴です。アルバックでは、プラズマによるダメージのない触媒化学気相成長法 (Cat-CVD)^{※2}を採用した成膜装置を開発し、より変換効率の優れた高品質アモルファスシリコン薄膜を提供しています。

※2 触媒化学気相成長法Cat-CVD (Catalytic Chemical Vapor Deposition):原料ガス分子を加熱した触媒体に接触させ、接触分解反応 (Catalytic Cracking Reaction) を用いて分解、その分解種を基板に輸送して薄膜を形成する方法



シリコンヘテロ接合型太陽電池用 Cat-CVD装置

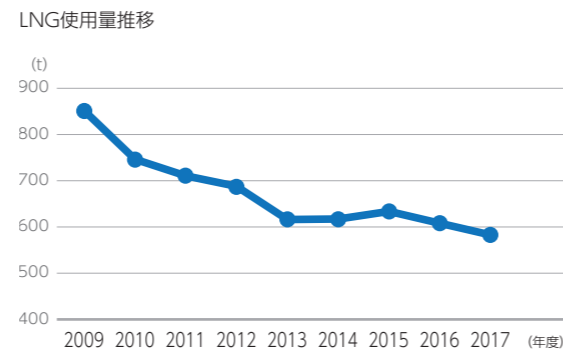
事業所における取り組み

排水回収の増量による熱回収 アルバック成膜株式会社

アルバック成膜株式会社は、成膜プロセスにおいて水使用量が非常に多いことが課題でした。環境への負荷低減のため、水使用量の削減を品質・環境目標に掲げ活動を行っています。

製造ラインからの排水を再利用することで水の使用量を削減し、また排水温度が水道水に比べて高いため、水の加熱に使用するエネルギー使用量も削減することができました。このLNG使用量削減分をCO₂排出量に換算すると約250t/年に相当します。

今後も地域の水資源への影響を鑑み、排水リサイクルを推進し、水使用量及びエネルギーの削減に取り組んでいきます。



植樹活動 愛発科真空技術 (蘇州) 有限公司

愛発科真空技術 (蘇州) 有限公司では、環境をより豊かにするため、2018年3月に第4回植樹祭を開催し、29本の桜を植樹しました。

今後は更に活動を展開し、環境保護に対する意識を育てていきます。



社会貢献活動

さまざまな社会課題の解決に向けて、保有する技術や人材を有効活用し、地域社会およびグローバル社会に貢献していきます。

茅ヶ崎 工場見学・実験

アルバックは主に小学校などの公的団体、地域や株主の皆さまを対象とした工場見学会や真空実験教室を開催しています。2017年には茅ヶ崎市と「地域の次世代育成・教育活動への貢献」を目的とした交流会を行い、以降は工場見学や真空実験を行う市との連携企画を5回以上開催しました。これからも多くの方々に科学への関心を高めてもらう活動を目指し、地域・社会、教育団体との繋がりを深めてまいります。



茅ヶ崎 社会福祉法人 翔の会 クッキー販売

社会福祉法人 翔の会 (神奈川県茅ヶ崎市) が手作りクッキーの販売を株式会社アルバック 本社・工場にて毎月1回行い、障がいのある方の社会参加の機会となっています。

2010年より昼休みの時間に食堂横のスペースで販売をしています。今後も購買支援を通じ、障がいのある方の就労を支援していきます。



マレーシア 断水時の給水支援

2018年3月、スランゴール州で浄水場の事故による断水が発生しました。ULVAC MALAYSIA SDN. BHD.では、急速、洗浄工場用に確保していた2万リットルの水を近隣住民に提供しました。アルバックグループは、地域との共生を目指すとともに、社会のさまざまな課題を解決するための活動を今後も行っていきます。



タイ 泰日工業大学での真空基礎講義

ULVAC (THAILAND) LTD. は泰日工業大学からの依頼を受け、2018年2月に学生向けに真空ポンプの種類や構造、真空計測などに関する基礎講義を行いました。2017年から泰日工業大学よりインターンシップ生を受け入れている実績が、今回の講義依頼につながりました。

タイにおいて真空技術は馴染みの薄い分野ではあるものの産業界の礎を担っていることを技術者が説明すると、興味を持つ学生が多数みられました。今後もインターンシップ生の受け入れをはじめ、次世代技術者の育成を支援していきます。

